

令和6年4月4日

各 位

瀬戸信用金庫

アートギャラリー企画展情報 ～「瀬戸の橋－橋を彩る作家達－」開催～

瀬戸信用金庫アートギャラリーにおいて企画展「瀬戸の橋－橋を彩る作家達－」を下記のとおり開催します。

記

1. 企画展開催期間

令和6年4月6日（土）～5月12日（日）

2. 瀬戸信用金庫アートギャラリーについて

(1) 開館時間 10:00～16:00

(2) 休館日 月曜日・火曜日（祝日の場合は翌営業日）

※休館日詳細については下記 URL よりご確認ください。

<https://www.setoshin.co.jp/gallery/>

(3) 入館料 無料

(4) 住 所 愛知県瀬戸市東茨町36番地の11

3. 同時開催

瀬戸信用金庫所蔵 北川民次展

以 上



愛知県陶磁器工業協同組合屋上より北東を撮影

瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展

瀬戸の橋 — 橋を彩る作家達 —

令和6年4月6日(土)～5月12日(日)

開館時間 10:00～16:00

休館日 月曜日・火曜日〔但し、4月29日(月・祝)、5月6日(月・振替休日)は開館、5月1日(水)、5月8日(水)は休館〕

※「瀬戸信用金庫所蔵 北川民次展」は上記休館日以外は常時ご覧いただけます。

※休館日に関してはHPでもご確認いただけます。

入館料 無料

共催 瀬戸信用金庫、(公財)瀬戸市文化振興財団

助成 (公財)瀬戸信用金庫地域振興協力基金

瀬戸信用金庫アートギャラリー

〒489-0897 愛知県瀬戸市東茨町36番地の11
TEL 0561-82-3100 FAX 0561-82-1619



瀬戸信用金庫アートギャラリー
HP 二次元バーコード



瀬戸橋 陶板
作:加藤 作助(四代)



宮前橋 染付磁器板
作:加藤 健太郎



宮前橋 狛犬
作:前川 電光



今村橋 染付磁器板
作:伊藤 昭蔵



記念橋人道橋 欄干文字
栗木 伎茶夫 書

人々の暮らしと共に川がある街、瀬戸市には、やきもので装飾された橋がいくつも架けられています。これらの橋は人の往来だけでなく、人とやきものを結ぶ架け橋としても整備されてきました。やきものの街ならではの風情に道行く人の心も和みます。それぞれに意匠を凝らした橋は、二つとして同じものはなく、時を重ねるごとに街の風景となじんできました。

今回の企画展では、瀬戸川にかかる橋の中から、瀬戸橋・記念橋人道橋・宮前橋・今村橋の4つの橋をピックアップし、それぞれの橋の紹介から、意匠に携わった作家達の紹介とともに、その作品を展示します。

瀬戸市で生活するうえで、欠かすことのできない「瀬戸の橋」をせと陶祖まつりが開催されるこの時期に、今一度見直す機会になればと思います。

瀬戸橋

令和3年(2021)竣工

大正14年(1925)8月、瀬戸地方を襲った未曾有の集中豪雨で、瀬戸川にかかる橋はことごとく流されてしまいました。それ以後、主要な橋はコンクリート化が進められました。瀬戸橋もこの集中豪雨で流れたため、架け替えられた歴史があります。また「瀬戸橋」は、かつて「瀬戸大橋」と呼ばれていました。



▲加藤 作助(四代)の陶板

記憶に新しいところでは、令和3年(2021)に瀬戸大橋の改修工事が完了したことに伴い、上流部に架けられていた蔵所橋と南橋は道路橋としての役割を終えました。

瀬戸橋の欄干には、加藤作助(四代)の陶板が嵌められています。

記念橋人道橋

平成21年(2009)竣工

瀬戸記念橋人道橋は、平成21年(2009)9月11日に完成しました。

瀬戸市制80周年に合わせて瀬戸ロータリークラブが装飾に携わり、寄贈しました。同会員の陶芸家、亀井勝、加藤令吉、加藤唐三郎、森脇文直、加藤孝爾が手掛け、親柱台座の上部は炎をイメージしたモニュメント、欄干には陶板が設置されています。また、親柱には栗木伎茶夫が揮毫した橋の名前入りの陶板がはめ込まれ、欄干上部にはガラスの展示ケースが設置されており、現在も瀬戸陶芸協会会員の作品展示が行われています。



▲欄干文字
栗木 伎茶夫



▲瀬戸ロータリークラブ
会員による陶板

宮前橋

昭和59年(1984)竣工

宮前橋は、昭和59年(1984)に現在の姿となる欄干改築工事が竣工しました。

欄干には、加藤健太郎による江戸時代の陶工の姿を描いた染付磁器板が中央にはめ込まれています。また、欄干中央には前川電光が制作した狛犬が、上流、下流向かい合うかたちで載せられ、陶都瀬戸市の雰囲気をも十分に漂わせたものとなっています。



▲狛犬
前川 電光



▲染付磁器板
加藤 健太郎

今村橋

平成3年(1991)竣工

今村橋は、愛知県と瀬戸市が協力して整備を行い、平成3年(1991)3月19日に竣工しました。せともの瀬戸を印象づけ、周辺の丘陵の山並みのラインと協調させ、美しく親しみのある空間づくりを目標に整備されました。

親柱に水野教雄制作のオブジェ、欄干には、洋画家伊藤昭蔵の描いた「瀬戸の風景」の染付磁器板がはめ込まれています。



▲染付磁器板
伊藤 昭蔵



▲陶器
水野 教雄

同時開催

常設展示

「瀬戸信用金庫所蔵 北川民次展」
当館1Fコレクション展示コーナー

次回展覧会

企画展

「瀬戸信用金庫新収蔵作家作品展」
令和6年5月18日(土)～6月23日(日)

交通案内

【公共機関でのアクセス】

- 電車 名古屋駅から(所要約1時間)
地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」下車、徒歩15分。
- バス 瀬戸駅前(尾張瀬戸駅北側バスロタリー)から(所要時間約5分)
名鉄バス菱野団地行「瀬戸駅前」から「陶栄町」下車、徒歩スグ

【お車でのアクセス】

- 長久手I.C.から(所要約30分)
東名高速道路「長久手I.C.」を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」、または「八草I.C.」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。
- せと赤津I.C.から(所要約10分)
東海環状自動車道「せと赤津I.C.」を降りて瀬戸市街地へ。



※駐車場:無料(18台)